

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		観光振興事業						予算事業名		観光振興事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				07	01	05	1101	経常経費						
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業				
		3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興（観												
		①地域資源を活用した観光の振興						担当課係等		商工観光課				
その他														
事業期間		継続（ 年度～ 年度）												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
・地域資源及び広域観光を活用した観光振興を図る。・訪日外国人を含む観光誘客の推進及び観光振興による地域活性化を図る。・市内事業者の観光事業への取り組み強化を図ることにより、観光振興と地域活性化の相乗効果を目指す。							観光協会への支援を行う一方で基盤整備は自治体が担っているのが一般的である。また、近年においては、広域連携による観光振興も推奨されており、これに取り組む自治体も多い。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
・地域資源を網羅した観光パンフレット等を作成し、観光誘客のアイテムとして活用する。 ・地域資源の発掘・磨き上げを行う。 ・観光物産センターの充実及び販売促進を助長する。 ・姉妹都市などの関係都市のイベントのほか、シティプロモーション事業(産直市)に参加し、市のPR活動を実施する。							訪日外国人を含む観光客、市内商業観光事業者							
【平成31年度 事業内容】							【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】			
商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。国体、東京リリックを踏まえた観光客受け入れ体制の整備。 ・パンフレット作成費用（るるぶ、パンフ見直し） ・観光型商店支援事業（リフォーム補助、仕入れ貸付、民泊セミナー）							商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。東京リリックを踏まえた外国人観光客受け入れ体制の整備。 ・パンフ増し刷り ・観光型商店支援事業（リフォーム補助、仕入れ貸付、観光セミナー）				商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光型商店支援事業（リフォーム補助、仕入れ貸付、観光セミナー）			
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	3,069	2,704							
歳入計（千円）				3,069		2,704								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）							
	08	報償費			506		480							
	09	旅費			332		326							
	11	需用費			1,258		943							
	12	役務費			30		29							
	14	使用料及び賃借料			491		474							
	19	負担金補助及び交付金			452		452							
歳出計（千円）（A）				3,069		2,704								
伸び率（％）						-11.89								
備考	総合計画107ページ 予算書128ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	観光パノフレット配布数(観光協会事業を除く)	セット	目標	1,500.00	2,500.00	2,500.00
	長井市、福井市、刈谷市、産直市など職員による観光PR時の観光パノフレット等の配布数 ※H28年度まで「観光大使派遣回数」としていたが同事業は協会事業のため変更		実績	2,450.00	0.00	0.00
	観光物産センター来館者数	人	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	平成27年度途中より観光案内所機能が別施設に移転したため、平成28年度の来館者数は買物目的の来館者に限定される		実績	5,673.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数(定点+施設+5祭事)	人	目標	180,000.00	180,000.00	180,000.00
	※観光動態調査(定点+施設)に観光協会主催の5祭事(桜まつり、夏祭り中日、盆踊り、祭りゆうき、きものday結城)入込者数を加えた数値を採用		実績	74,342.00	0.00	0.00
	観光物産センター売上額	円	目標	6000000.00	6000000.00	6000000.00
	観光物産センター販売実績額		実績	3661675.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	シティプロモーションの観点からも市全体の観光パノフレットや観光案内、標識などの基盤整備は行政が担うべきと考える。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	将来的に観光市として成立し、民間主導で観光振興が図られることを期待しつつ、市内商業者が観光による収益を得られるようになるまでは行政が計画的に観光振興を図る必要があると考える。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	何が正解なのかは現時点では計り知れない。しかしながら現況の地域資源を活用し、可能な事業を推進するしかないと考える。こと観光キャンペーンについては観光協会事業との連携若しくはすみわけが必要であろうと考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	これまでは配属された職員の技量が観光PRや観光事業に反映されて来たため年度によって差が生じていたと考える。商業観光振興計画策定後においては、これに沿った形で事業が進められていくようになれば効率的に進められると考える。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	観光事業やイベントの内容によっては受益者が偏るものと考えているが、ターゲットを絞り趣旨を明確にすることが地域性を出すための手段であることから致し方ないものと考えている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	イベント入込数や観光客数は増加傾向にあり、大手旅行会社の旅行商品に取り上げられるなど成果は上がっているものと考えている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	観光振興は地域の収益が上がり、雇用を生み出せるようになるまでには、さらなる改善と事業推進が必要と考える。これには地域の商業者の意識改革に加え、観光協会や物産協会の改革も不可欠であると考えている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
イベント入込数や観光客数は増加傾向にあり、大手旅行会社の旅行商品に取り上げられるなど観光振興としての成果はあったと考えられ評価できる。 しかしながら、観光パノフレット配布や観光案内などの情報発信、その他基盤整備は行政主導で行うべきだが、最終的には民間観光商業事業者の意識改革が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
より実効性のある商業観光振興計画の策定が何よりも重要であるため、平成29～30年度においては、観光協会や祭事実行委員会等の在り方を検討することになる。また市民及び商業者へのアンケート調査結果を踏まえる一方で意識改革を助長し、「稼げる観光」を目指し、費用の掛からないSNSを活用した情報発信、補助事業に関する情報収集とこれを活用した事業実施を進める。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 商業観光振興計画に基づき事業を実施していく。国体やオリンピックを前に短期的な事業から進めつつ、長期的事業についても検討していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	